

コミュニケーション支援シートの使い方

コミュニケーション支援シートは、知的障害や聴覚障害のある方などが話し言葉で意思や状況を伝えられない場合に使用するシートです。日本語を話せない外国人の方にも使用できます。

1 困っていても、自分から声をかけることができない人がいます

- ・ どうして良いかわからず、その場で動けないでいる。
- ・ 声をかけることができず、落ち着かない様子で、きょろきょろしている。
- ・ 体調が悪そうにしている。



2 「ゆっくり」「やさしく」「ていねい」に声をかけてください

- ・ 安心して話ができるよう、ゆっくり、やさしい口調で声をかけてみてください。

「どうしましたか?」「何かお手伝いすることはありますか?」など

**言葉の意味が通じていないときや相手が何を言っているかわからないときは、
コミュニケーション支援シートを試してみてください。**

※ コミュニケーションの方法は障害の内容によりそれぞれ異なります。

筆談や手話などその人が望むコミュニケーション方法を確認し、配慮することが必要です。



3 コミュニケーション支援シートを活用してください

- ・ コミュニケーション支援シートを見せて、相手に絵を指さしてもらってください。
指さしができない場合は、こちらが推測しながら、絵を指さして聞いてあげてください。

※ 本人の障害への配慮や連絡先を記載したヘルプカードを持っている
場合がありますので、必要な場合は確認してください。



お問い合わせ

北区健康福祉部障害福祉課障害福祉係 電話 03-3908-9085

FAX 03-3908-5344

コミュニケーション支援シートは北区ホームページからダウンロードできます。

